

環境教育

～大阪府立能勢高等学校の取り組み～

様々な環境教育を行っている能勢高校に取材に行ってきました！

大阪府の最北に位置する能勢町は自然に囲まれた緑豊かなところ。そんな緑豊かな場所にある大阪府立能勢高等学校では、里山と貴重な生物の宝庫である能勢町の環境を生かして様々な環境教育を行っています。

緑豊かな里山と貴重な生物の宝庫 能勢町！！

能勢高校は、右の写真（農場から高校を撮ったもの）のように周りを緑に囲まれた自然豊かな環境の中にあります。訪れた際に鳴いていたのは、暑苦しく鳴くクマゼミではなく、ヒグラシが涼しげに鳴いていました。学校は田んぼに囲まれ、学校から少し山側に行ったところに農場があります。能勢高校では里山と貴重な生物の宝庫という環境を活かした様々な環境教育が行われています。



農場を生かした生物多様性や環境を守る取り組み その1



農場では、野菜・花・果樹などたくさん種類を栽培中。左の写真はコンニャク（写真一番左）や様々な品種のサトイモ。コンニャクは毎年収穫・貯蔵・植えつけ作業が必要で、一番手前が3年目の苗。苗の状態のコンニャクを見るのは初めてで、コンニャクの栽培に植えつけなどの手間がかかることも知りませんでした。

右の写真は太陽光発電の装置。発電した電気は夜間の電灯用に使用されています。農場ではそのほかにも、キジ（写真下右側）や羊の飼育、養蜂、古代米（写真下左側）の栽培など恵まれた自然環境の中で様々な取り組みを実施。また、能勢町立小学校と連携し、高校生がリーダー役を務めて小学生に環境学習を行っています。能勢高校では地域と連携した取り組みを実施しており、能勢町では小学・中学・高校とステップを踏みながら環境教育を受けることができます。



農場を生かした生物多様性や環境を守る取り組み その2



左の写真は農場内にあるビオトープです。この中では様々な生き物が生息しており、生物多様性について学べる場所になっています。大阪府レッドデータブックで要注目にあがっているイモリの一種“アカハライモリ”が生息しており、イモリの飼育や人工繁殖を通じて、能勢町の豊かな自然やその大切さを感じてもらおう授業を実施しています。

右の写真はアカハライモリの赤ちゃん（葉っぱの上）。



地域に根ざした人材の育成へとつながっている！

今回お話を伺ったのは、藤田先生（写真中央）と3年生の松田さん（写真右）。

藤田先生は環境教育の授業を担当されており、アカハライモリをかわいがっている姿が印象的で、生徒に暖かく授業を行っている様子が伝わってきました。

松田さんは3年生になって初めて農場での授業を選択。そこから面白さに気づいて、理系の方が主に参加するサマー・サイエンスキャンプに文系でありながらも参加するなど様々な経験をつみます。様々な経験から、海外では生物多様性の分野において能勢町の名前が有名なことを知り、もっと能勢町のことを勉強して、世界に能勢町のすばらしさを伝えたいと熱い思いを語ってくれました。

以前は能勢町を出ることを希望していた松田さん。しかし、様々な経験をさせてもらううちに、能勢町の魅力に気がつくことができたそうです。

能勢高校では、地域の特性を活かした環境教育を実施することで、地域に根ざした人材が育っています。



大阪府立能勢高等学校の皆様、取材へのご協力ありがとうございました。

～ 編集後記 ～

暑い日が続きますが皆様夏バテなどされていませんか。

こんな暑い夏を乗り切るにはしっかり食べて、しっかり眠ることが大切です。

梅干や**レモン**は疲労回復、**ウナギ**や**レバー**はエネルギー代謝を高める働きがあります。

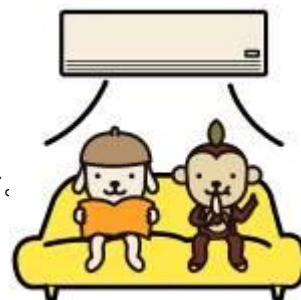
暑くて食欲がない場合は、**唐辛子**や**にんにく**などの香味野菜で食欲を刺激してみてください。

また、しっかり眠るために、寝る前の**軽い運動**や**入浴・半身浴**などで体を温めることが大切です。

クーラーによる冷やしすぎに気をつけて、**28度設定**で寝る前の**タイマー利用**もお忘れなく。

しっかり食べて、しっかり眠って、この夏を元気に乗り切りましょう！

次回は**10月号**となります。（今年度から**偶数月の発行**となりました。）



毎月16日は「ストップ地球温暖化デー」です。省エネのため、効率的な事務を心がけ、定時に退庁しましょう！

お問い合わせは：《EMS事務局》 地球環境課 環境活動推進G（内線：2756）

モット・キット通信のページは：http://www.lan.pref.osaka.jp/10165/109350/ISO14001/iso_isotusin.html